

安塚区地域協議会だより

発行日：令和7年3月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 吉野 誠 一

第39号

ご挨拶

安塚区地域協議会

会長 吉野 誠 一

会の議長を担当して一年がたった。活発な意見交換を促し合意を得る難しさをかみしめている。



安塚中学校を活用し、地域の再生を主題に三つの提案に取り組んでいる。漸く、具体的な一歩を踏み出す段階まで来た。

地域協議会の結論は、安塚区の意思決定を意味する。当然、慎重な審議に努めざるを得ない。その一方で、時間をかけてばかりいられない事情もある。

葛藤しつつも、各委員の前向きな姿勢を助力に難題を打開したい。個人的には、七月頃を目処に意見書を提出すべきと考えている。

一年を振り返って

委員 和泉 達 郎

地域協議会

委員に選任され、早くも一年が経とうとしております。住民の代表として地域の



課題解決や活性化の策定という役割があります。住民の皆さんが思う不自由さや困り事等が私自身理解できていない事を気づかされた一年でありました。現状を踏まれば、高齢化が進み人口は減少傾向にあり、歯止めをかけることが喫緊の課題であることは間違いありません。私は安塚区に移住してまだ5年です。風光明媚な安塚が大好きです。安塚区の現状を全て把握しておりませんが、目先の事だけにとらわれず将来を見据え、より多くの課題解決や活性化策に取り組む、少しでも皆様のお力になれるよう使命を全うする所存ですので、今後ともご指導とご鞭撻、ご協力を宜しくお願いいたします。

一年を振り返って

委員 岩 崎 博 夫

4月に協議会

委員に任命され一年が過ぎようとしております。毎月開催されている会議では、



現在、ひとつのテーマに沿って協議を重ねています。その中で、他の委員の方々が色々な角度から多くの意見を述べていることに、大変関心しているところです。私も安塚区のためになるよう、積極的に協議に参加していきたいと思っております。

会議の様子



「大・浦・安」合同研修会に参加して 委員 池田正文

十一月十三日に大島就業カイゼンセンターにて、藤山浩さん（上越市創造行政研究所長）による持続可能なまちづくりをテーマにした講演を聞きました。



安塚区においては地区全体「町内会、NPO雪のふるさと安塚、キューピットバレイ、道の駅（雪だるま物産館、小さな空）、福祉、農業等」での取組みが必要とのことでした。

また、人口分析では、七十五歳以上が34%で、主力世帯が七十歳台前半とのこと。そこで現在の出生率0.91を1.80に、二十代男女一組、三十代子連れ夫婦一組を区内に移住、それと、十代から二十代の流出防止で改善できそうとの話でした。人口減少、高齢化社会、農地の荒廃などいい知恵ありませんか。



研修会の様子

◎地域協議会活動状況

- 第一回（令和六年五月二十三日開催）
協議事項…会長副会長の選任について
地域協議会の運営に関する内規について
報告事項…引継ぎ事項について
令和六年度安塚区における主な事業等について
- 第二回（六月二十六日開催）
協議事項…地域協議会の運営に関する内規について
報告事項…地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて
- 第三回（七月二十三日開催）
自主的審議事項…自主的審議事項について
報告事項…地域自治推進プロジェクトに係るアンケート調査について
- 第四回（八月二十七日開催）
自主的審議事項…(1)安塚区地域協議会視察研修について
(2)自主的審議事項について
- 第五回（九月二十四日開催）
自主的審議事項…(1)旧安塚中学校の利活用について
(2)安塚区地域協議会視察研修について
- 第六回（十月二十三日開催）
自主的審議事項…(1)安塚区地域協議会視察研修について
(2)旧安塚中学校の利活用について
- 第七回（十一月二十六日開催）
報告事項…(1)令和五年度の「安塚雪だるま高原」における市の収支状況等について
(2)令和六年度冬期道路交通確保除雪計画について
自主的審議事項…旧安塚中学校の利活用について
- 第八回（十二月二十四日開催）
自主的審議事項…旧安塚中学校の利活用について
- 第九回（令和七年一月二十八日開催）
自主的審議事項…旧安塚中学校の利活用について

編集後記

今、安塚区に「あればいい」物や事はないか？それと旧安塚中学校の校舎の利活用をどう結ぶのか？地域協議会の自主的審議テーマとして、新しい委員の皆さんと共に議論を進めています。

これから先、五年十年を考えると心細くなることが多いのですが、雑誌『暮らしの手帖』に「十歳若返りましょう」という提案が昔載っていました。十年前をふり返って、あの頃何をしていたか。十歳分を巻き戻して、「もう少し長くやれそうだ」と気分を変えたいところです。

ようやく待ちわびた早春になります。畑や田んぼが出てきます。無理をせずに、タネや苗を植えて、安塚の自然を楽しみに過ごしましょう。（池田（康））

